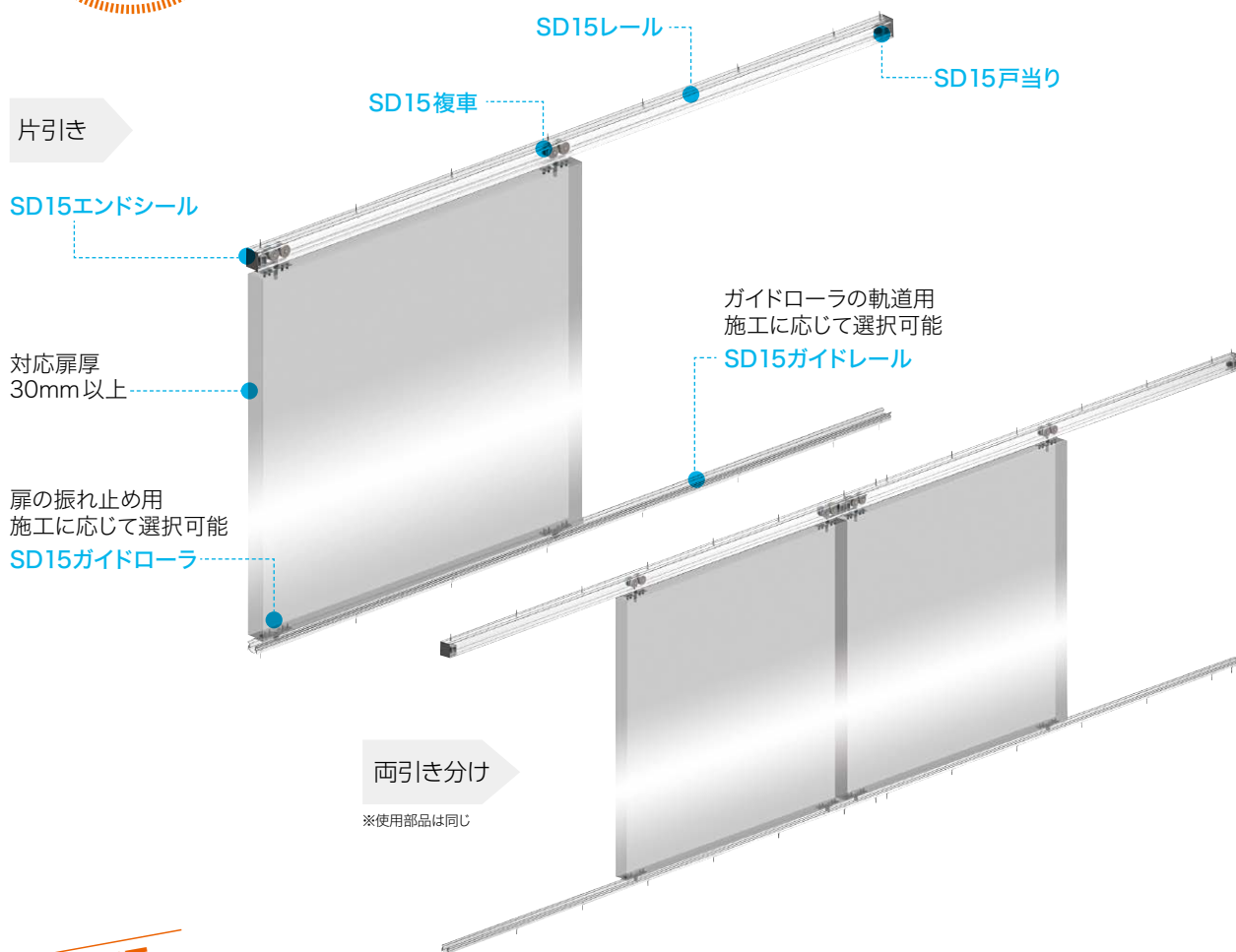


SD15型

扉質量	水平 レール	レール 天付け	レール 壁付け	扉枚数	木製 扉用	公共施設 向け	学校 向け	必要レール 上部 (下部は選択)
70 kg以下 扉1枚当り 複車2個吊り				片引き 1枚 両引き/引違い 2枚	鋼製 扉用	一般住宅 向け	室外 対応	部品 必要部品を 選択



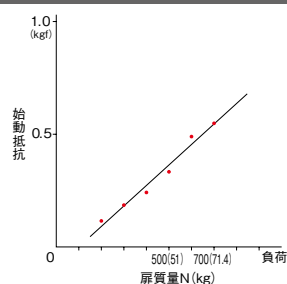
- 1 屋内出入口や間仕切り用の引戸金具
- 2 樹脂製ベアリング入り樹脂車の採用でスムーズな走行
- 3 壁付け施工用の横受や戸当り等の部品も豊富にラインナップ



POINT

「始動抵抗:9.8N(1kgf)以下」
のスムーズ走行を実現

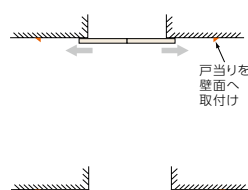
SD15レール・SD15-4Wの場合



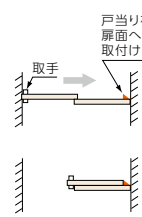
引分け戸、引違い戸、3連引違い戸などに対応

※SD15 面付戸当りを使用した場合

〈引分け戸の場合〉

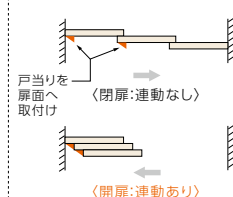


〈引違い戸の場合〉



〈3連以上の引違い戸の場合〉

扉を運動させる事ができます。(ただし、扉を開ける時は運動しますが、閉める時は運動しません。)



●学校や公共施設等の不特定多数の人が使用される所では、必ず扉を壁に当てて止めてください。



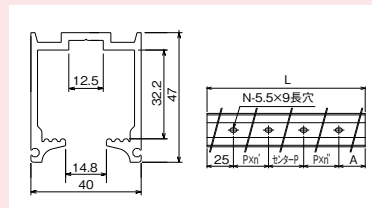
SD15 部品〈必要部品をお選びください〉

…レール …戸車 …プレート …戸当り …ガイド …その他部品

天付け・壁付け対応のアルミレール ※壁付けの場合はSD15横受を使用



SD15レール

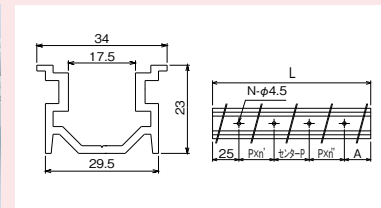


●A6063S-T5 (アルマイト) シルバー／ブロンズ
※レールを埋め込む場合は彫り込み幅42mm以上推奨。

ガイドローラの軌道用。施工に応じて選択可能



SD15ガイドレール



●A6063S-T5 (アルマイト) シルバー／ブロンズ

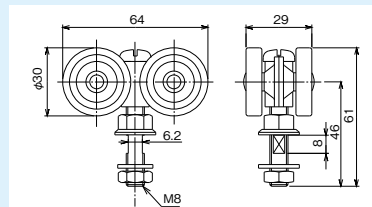
品番	サイズ	取付穴ピッチ	穴数
シルバー	ブロンズ	L	P×n' センターP P×n' A N
SD15-R09S	—	910	287×1 287 287×1 24 4
SD15-R18S	SD15-R18B	1820	295×3 295 295×2 25 7
SD15-R27S	SD15-R27B	2730	298×4 296 298×4 25 10
SD15-R36S	SD15-R36B	3640	299×6 301 299×5 25 13

品番	サイズ	取付穴ピッチ	穴数
シルバー	ブロンズ	L	P×n' センターP P×n' A N
SD15-GR09S	—	910	287×1 287 287×1 24 4
SD15-GR18S	SD15-GR18B	1820	295×3 295 295×2 25 7
SD15-GR27S	SD15-GR27B	2730	298×4 296 298×4 25 10
SD15-GR36S	SD15-GR36B	3640	299×6 301 299×5 25 13

ベアリング入り樹脂車で、スムーズ＆静かな走行を実現

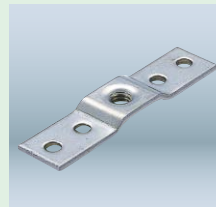


SD15複車
SD15-4W

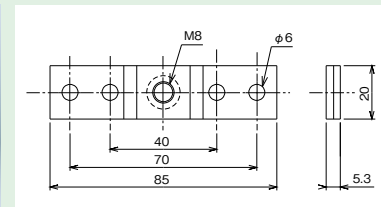


●車 : ポリアセタール
●胴 : SPHC (メッキ)
●ボルト : M8 (メッキ)
●皿形座金ナット1コ、平座金1枚、ナット1コ付き
●車径φ30 (ベアリングタイプ)

扉と戸車の取り付け用



SD20プレート
SD20-PT

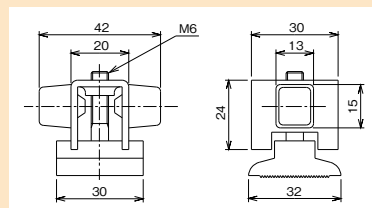


●SUS304
●取付穴φ6 4カ所
※スキマは約13～15mm。

扉を止める位置決めに。衝撃を緩和するゴム付タイプ



SD15戸当り
SD15-CSS
(シルバー)
SD15-CSB
(ブロンズ)

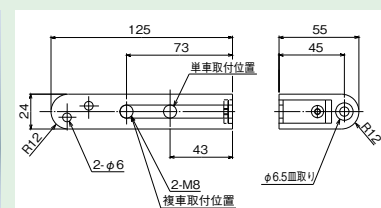


●上板 : SPHC (メッキ)
●クッション : クロロブレンゴム
●化粧台 : 亜鉛ダイカスト (シルバー／ブロンズ)
※端部の戸当りとして使う場合は外側のクッションを取りのぞいて使用。
※レールの色に合わせて化粧台の色を指定してください。

扉とレールのスキマを短くしたい場合に
扉と戸車の取り付け用



SD15インサイドプレート
SD15-SPL

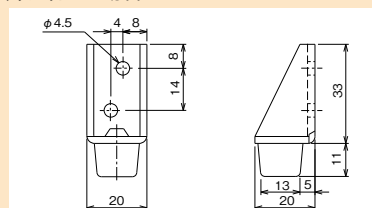


●SS400 (ニッケルクロムメッキ)
●扉との取付ねじ付
呼び径5×35なベタタピンねじ2本
呼び径5×35皿タピンねじ1本 (ステンレス)
M4×10皿ねじ1本 (ステンレス)
※扉厚30mm以上、彫り込み加工が必要。
※扉とレールのスキマ寸法については、別途お問い合わせください。

戸当りを壁面や扉面に直接取り付ける場合に

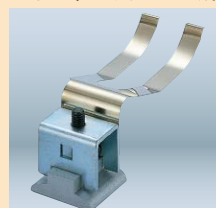


SD15面付戸当り
SD15-ST

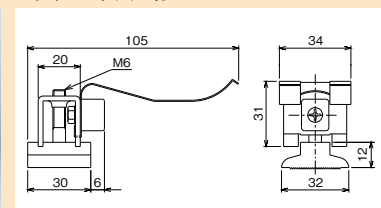


●本体 : SPCC (メッキ)
●クッション : クロロブレンゴム
●取付ねじ: 呼び径4×25トラスタッピンねじ2本付

バネが車をキャッチし、所定の位置で確実に停止



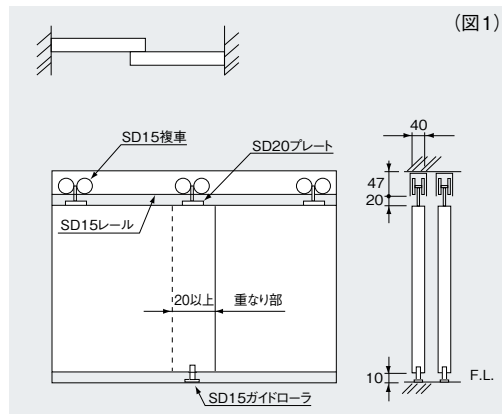
SD15ストッパー付戸当り
SD15-CSTS
(シルバー)
SD15-CSTB
(ブロンズ)



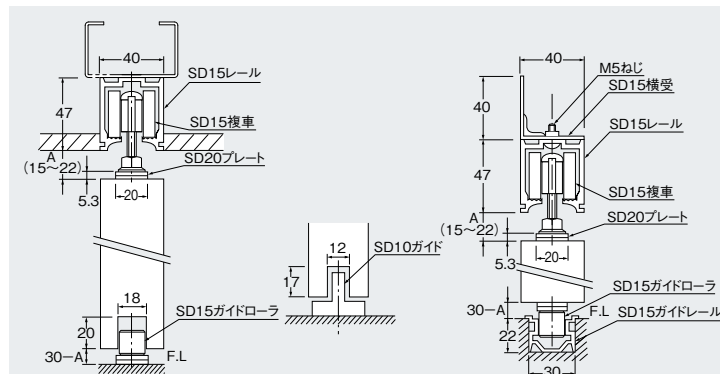
●上板 : SPHC (メッキ)
●クッション : クロロブレンゴム
●化粧台 : 亜鉛ダイカスト (シルバー／ブロンズ)
●板バネ : SUS304CSP
※レールの色に合わせて化粧台の色を指定してください。
※ストッパーは戸先側でも使用可能。

納まり図

引違い戸

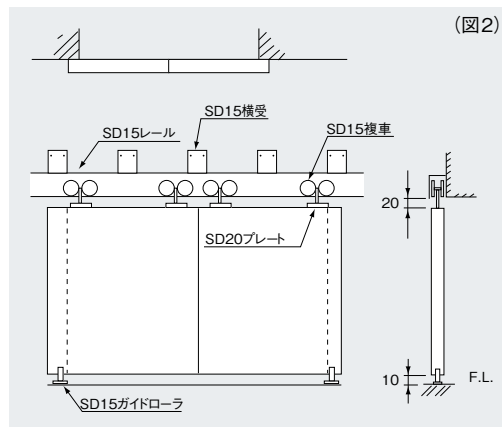


SD15複車



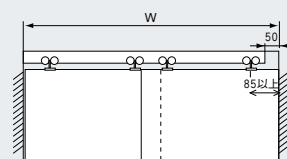
- 扉上部とSD15レールとのスキマ寸法 (A) はSD20プレート使用時に15～22mmになります。
- SD20プレート使用時における扉と床面とのスキマ寸法は30- (A) mmになります。
- ガイドローラはSD10ガイドと振れ止めガイドとの組み合わせでも使用できます。
- 図1の場合、2枚の扉の引違いを示していますが、3枚以上の扉の引違いもできます。(図3)

引分け戸



〔図3〕

〔図4〕



※天井部に溝加工をし、上レールを埋め込むと、よりきれいな仕上がりになります。(彫り込み幅42mm以上にしてください。)

※上レールの両端に竖枠がくる場合、竖枠と竖枠の間いっばいにレールを取付けてしまうと、車のメンテナンス、交換などの際レールを取り外さなければなりません。従って図4のように、開口部の幅Wに対しレールの長さはW-50mm位にし、複車の取付位置を扉端部から85mm以上にしておけば、レール施工後でも容易に車のみを取り出すことができ便利です。(SD15インサイドプレートには適用しません。)

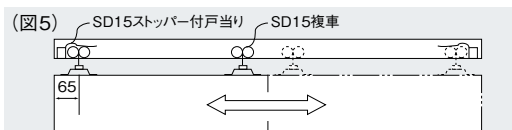
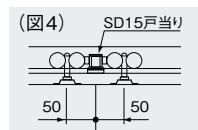
取付け手順 (SD20プレート、SD15ガイドローラ仕様における取付け手順)

■引違い戸

- ①取付位置に合わせSD15レールをカットします。
 - レールを連結する際には必ず連結ピンをご使用ください。
 - 切断面のカエリは完全に削り取ってください。
- ②レールを取付ける前に、あらかじめSD15複車、戸当り(ストッパー付戸当り)を挿入しておきます。
- ③取付穴に合わせて、レールを所定の位置に取付けます。(取付穴は約300mmピッチであいています。)

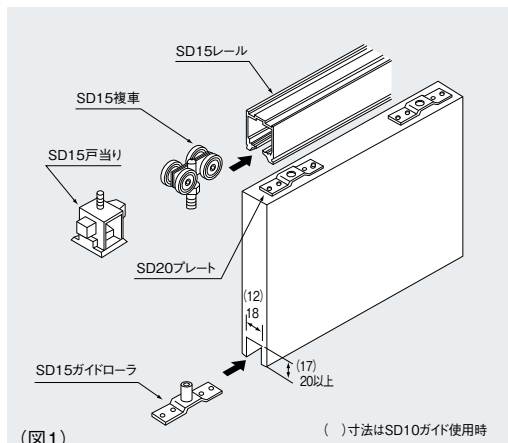
■扉の加工及び各部品の取付け

- ①扉上部にSD20プレートを取付けます。(SD15戸当り、ストッパー付戸当りを使用する場合、〔図4・5〕の取付位置に従ってください。
 - あらかじめプレートのねじ部にあわせφ9の穴をあけておきます。(木製扉の場合は深さ13mm以上の穴をあけてください。)(右下図2参照)
- ②SD15ガイドローラを扉の重なり部中央に取付けます。
 - 垂直に扉が吊り込めるよう取付位置に注意してください。
- ③扉の下端部に18mm幅、深さ20mm以上の溝加工をします。(SD10ガイドを使用する場合は12mm幅、深さ17mm以上の溝加工になります。)



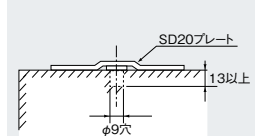
■扉の吊り込み

- ①ガイド用に溝加工した扉をガイドローラに落とし込みSD20プレートのねじ部に複車ボルトをねじ込み扉を吊り上げます。(レール内で複車のボルトは持ち上げられます。)
- SD15インサイドプレートを使用した方が簡単に吊り込めます。
- ②ボルト背切り部分にスパナを差し込み建付け調整を行ないます。(専用スパナSD15-HSがあると便利です。)[図3]
- ③複車のボルトを押さえながら、皿形座金ナットをプレート側に強く締め付けます。

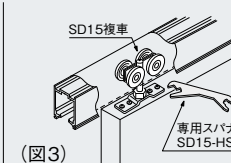


〔図1〕

() 寸法はSD10ガイド使用時



〔図2〕



〔図3〕

※複車の小箱内に入っている平座金1枚とM8ナット1個は弊社エプロンを使用する際に必要なものであり、SD20プレートと組み合わせて取付ける場合、不要となります。